

学校便り No.10 R7. 1. 6



後期の後半がスタートしました！

校長 内田 法子

冬休みが明け、元気な子供たちが、学校に帰ってきました！

どの子も新たな目標をもって後期の後半をスタートさせました。冬休み中、子供たちの健康や安全に配慮していただきまして、どうもありがとうございました。おかげさまで大きな事故やけがもなく元気な子供たちに会えてほっとしております。

昨年11月に行われました研究報告会以降、子供たちがさらに自信をつけ、生き生きと学校生活を送っているように感じます。その節はASPの皆様にご受付けや案内などのお手伝いをしていただき、大変助かりました。おかげさまで充実した研究報告会となりました。子供たちは大変良く頑張っていました。国立特別支援教育総合研究所の井上秀和様による記念講演会もわかりやすかったと大変好評でした。内容につきましては、2枚目に概要を掲載いたしましたので、ぜひご覧ください。

今年己年。本来の干支でいうと「乙巳(きのと・み)」と言われるそうです。再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展し、多くの人々にとって成長と結実の時期となる可能性が高い年、と考えられています。この一年も、子供たちの健やかな成長と、心穏やかな日々を願わずにはられません。

今日から3月の卒業証書授与式や修了式までは、毎年、あっという間に過ぎてしまうぐらい、忙しい日々が続きます。次の学年への進級や、中学校への進学等を控えたとても大切な時期でもあります。

子供たちが今日、考えてきた新しい目標が必ず実現するよう、私たち教職員も支援、指導をしっかりとこなしてサポートしていきたいと思っております。

今月は小学校球技大会が本校の運動場と体育館で開催されます。12月から5、6年生は体育の時間を使って一生懸命、練習に取り組んできました。先生の話真剣に聞く姿、友達と高め合う頼もしい姿から、大きな成長を感じます。ぜひ、練習の成果を発揮して、友達と力を合わせて楽しみながら試合に臨んでほしいと思っております。

他の学年の子供たちも様々な面で頑張っています！忙しい中ではありますが、一つ学年が進むことへの思いを一人一人考えながら、この数か月を大切に過ごさせ、喜びをもって4月を迎えさせたいと考えています。

この時期は、今の学年で学んだ内容のまとめ学習も少しずつ始まりますし、進級、進学の不安、希望なども入り混じり、不安定になる子もいるかと思っております。

引き続き子供たちの様子をしっかりと見ていくよう、全職員で心掛けてまいります。何かご心配なことやご不明な点などがございましたら、いつでも学校までお知らせください。一緒に考えてまいりたいと思っております。

残り3か月となりました。今年もどうぞよろしくお願いたします。

《はる なつ あき ふゆ》 大岡 信

はるのうみ
あぶらめ めばる
のり わかめ みる
いひだこ さはら さくらだひ
はまぐり あさり さくらがひ
やどかり しほまねき
ひじき もづく いそぎんちゃく

なつのうみ
よづり いかつり
やくわうちゅう くらげ
きす あなご ちぬ
とびうを かははぎ べら をこぜ
いしだひ はまち おほだこ
いさき かんぱち ままかり
てんぐさ ふなむし ふのり

あきのうみ
あきあじ あきさば あきがつを
いわし さんま すずき
ぼら はぜ
しいら たちうを さっぱ

ふゆのうみ
あんかう なまこ
ふぐ
ちどり
かも

しんねんのうみ
おほはしのはつわたり
はつひので
なぎ
こども
おとな
うみかせ
かもめ

1月の行事予定

児童の安全確保の観点から、
ホームページでは掲載しておりません。

お知らせ

☆席書会について

月 日()・日()に席書会を行います。12月から取り組んできた成果を生かし、すてきな作品が出来上がることを楽しみにしています。各学年の学年だよりに記載されている持ち物を確認の上、忘れ物のないよう声かけをよろしくお願いいたします。

出来上がった作品は、2月に実施します校内書き初め展で掲示いたします。

☆ 月 日()に学習参観・懇談会が予定されています。

学習参観 ～ 懇談会 ～

の予定です。詳細につきましては 日のすぐーるで配信します手紙をご覧ください。

研究報告会を終えて

11月29日(金)に研究報告会を行いました。5校時に2年1組、5年1組、6年2組で研究授業、その後、研究報告会全体会と記念講演を行いました。授業では、子供たち一人一人がそれぞれの課題等を自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む姿が見られました。また、国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員 井上 秀和 様に「通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒への指導・支援」という演題で記念講演をいただきました。講演の概要を少し紹介させていただきます。

学校における指導・支援には「集団」「小集団」「個別」の形態があり、集団指導と個別指導は、集団に支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させるという相互作用により、児童生徒の力を最大限に伸ばしていくことができる。また、子供たちの目線での学びやすさを考え、より多くの子への環境を整えること、授業の準備を行うこと、授業のユニバーサルデザインを行うことなどの基礎的環境整備を整えることが大切である。その上で、更に支援が必要なときには、それぞれの困難さを見とって合理的配慮を行うことにより、子供たちが安心して学ぶことができるようになる。そして、基礎的環境整備などの支援の手立てが有効であったかという評価を指導者だけでなく、子供たちとも行うことにより、よりよい支援の手立てにつなげていくことができる。

人によって認知処理様式に違いがあり、教科の特性によってつまずきやすいということがあるため、そのような見方で子供たちを見とると支援の手立てを行いやすい。また、実行機能(最後まで何かをやり遂げるために必要な機能)を伸ばすためには、「目的の明確化」「動機づけ」「自己や環境の認識」というポイントを押さえて、指導、支援をしていくことが大切である。

講演内容を参考にし、子供たちの指導、支援をしてまいりたいと思います。